

医科研究会

Case Study - 画像パターンから見た 呼吸器疾患の鑑別診断



講師

藤田次郎先生

(琉球大学医学部附属病院長、
琉球大学大学院 感染症・呼吸器・
消化器内科学(第一内科)教授)

主な資格

医学博士(平成2年12月27日)
日本内科学会認定内科医
日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医
日本感染症学会感染症専門医・指導医
日本結核病学会指導医

略歴

- S56.3 岡山大学医学部卒業
- S56.4-S58.3 国家公務員共済組合連合会虎の門病院内科レジデント
- S58.5-S60.10 国立がんセンター病院内科レジデント
- S60.11-S62.10 米国ネブラスカ医科大学呼吸器内科学
- S62.12-H 5.9 香川医科大学医学部附属病院第一内科助手
- H5.10-H13.1 香川医科大学医学部第一内科学助手
- H13.2-H15.9 香川医科大学附属病院第一内科講師
- H15.10- H17.5- 香川大学医学部附属病院第一内科講師
- H17.5- 琉球大学医学部感染症態制御学講座(第一内科) 教授
- H19.7-H20.3 琉球大学医学部副学部長(兼任)
- H22.4- 琉球大学大学院 感染症・呼吸器・消化器内科学(第一内科) 教授
- H27.4- 琉球大学医学部附属病院 病院長(現在二期目)

講師からの一言

呼吸器疾患の診断は、病歴(基礎疾患を含む)、身体所見、微生物検査、および画像診断などを用いて総合的に行うべきものであることはいうまでもない。本講演では、Case Studyとして自験例である呼吸器疾患の症例呈示を行いつつ、10問の臨床問題を構成した(自己採点)。日常的に遭遇する可能性のある呼吸器疾患に対して、呼吸器系の正常解剖に立脚した画像診断を行うことにより、病変の部位を明らかにすることを試みたい。また病変の部位のみならず、大葉、小葉、細葉、またはすりガラス陰影などの画像パターンから起炎菌を推定することが可能か否かを探りたい。さらに肺の正常解剖に基づく部位診断、病原体の種類と増殖メカニズム、および宿主の生体反応に基づいた総合的な画像診断の可能性、について概説したい。

日時

3月8日(金) 19:30~21:00

会場

アバンセ 第1研修室

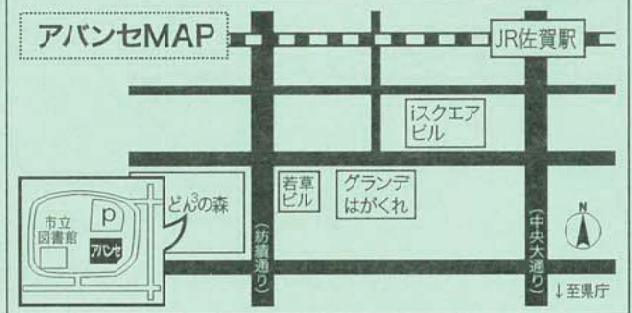
佐賀市天神3丁目2-11 TEL0952-26-0011

*参加対象/協会会員の医師、スタッフ

*定員になり次第締め切ります。

*協会未入会の先生は、事前に入会手続きの上で参加ください。

アバンセMAP



会員参加費無料

HP

主催 佐賀県保険医協会

☎ (0952)29-1933 FAX 23-5218

E-mail: hoken-i@star.saganet.ne.jp

■ FAX参加申込書

2019.3.8(金)

医療機関名

FAX (0952) 23-5218

会員名

Case Study - 画像パターンから見た
呼吸器疾患の鑑別診断

御住所

参加人数	医師	スタッフ 他
	人	人

TEL() -